

# フードバンク活用で支え合う地域づくり

NPO法人こどもソーシャルワークセンター 理事長 幸重忠孝

## はじめに

---

### ■講師紹介

## 貧困課題に苦しむ子どもたち

---

### ■おはなしオレンジリボンより

「かまってくれない」「変わってしまった親友」

### ■地域で家庭にしんどさを抱える子どもたちを支える

- ・受け入れる子どもは一度に三名まで（原則、週に1回利用できる）
- ・子どもたちに関わるのは地域のボランティア
- ・福祉や学校からの紹介でやってくる貧困やヤングケアラーの子どもたち

## こどもソーシャルワークセンターでのフードバンク活用

---

### ■食品提供先

- ・毎週金曜日のバナナの日
- ・琵琶湖汽船による観光船ミシガンからの夕食プレゼント
- ・食品ロス削除ショップecoeatとの連携
- ・地元農業高校やシニア向けの地元レイカディア大学（園芸学科）との連携
- ・滋賀県社会福祉協議会（子どもの笑顔はぐくみプロジェクト）との連携

### ■食品の活用

- ・毎日開設している子どもの居場所での活用
- ・生活困窮・ヤングケアラー世帯への配食（オーダーメイドが大事）
- ・毎週定時制高校で開催している高校内居場所活動でのパントリーコーナー
- ・モデル事業として行った「中学校でのフードパントリー」

## おわりに

---

- ・ソーシャルワーカーが食と必要な人をつなげる
- ・直接支援団体と中間支援団体への食料支援のメリット・デメリットを知る